

優秀賞

都市計画道路 高崎駅西口線 緊急地方道路整備事業 (高崎市)

■表彰対象者：群馬県土木部

表彰の理由

中心市街地に流入する交通の慢性的渋滞が解消されるとともに、城址の歴史的な施設に配慮しつつ周辺の公共施設と一体となった美観的演出が図られ、文化的色彩を醸し出す魅力ある都市景観が形成されているとして評価された。



全景

ライトアップされた高崎駅西口線と高崎シティギャラリー

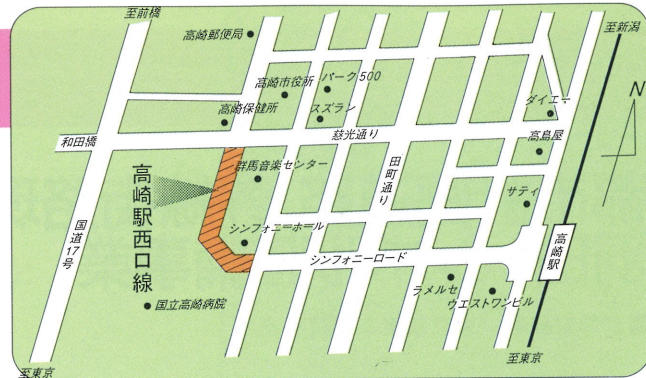


夜間でも楽しく歩ける歩行空間

事業の効果

周辺施設に配慮して整備したことにより街路空間と一体となった美観的空間が創出され、行政・文化の中心地区としての魅力が向上している。また、夜間でも楽しく歩けるようなライトアップの実施や、視覚障害者のために視認性に配慮した点字ブロックを設置するなど誰でも安心して歩ける歩行空間が形成されている。

- 延長：300m
- 幅員：28m
- 全体事業費：1,983百万円
- うち街路事業費：1,983百万円
- 事業期間：昭和62年度～平成5年度



新市庁舎



同時に整備された共同溝

都市計画道路 加島天下茶屋線外1路線と阪神本線との立体交差事業 (大阪市)

■表彰対象者：大阪市建設局

表彰の理由

厳しい工事上の制約のなかで、既存の道路空間を利用して鉄道を移設、地下化したことにより慢性的交通渋滞が解消され、地域経済の発展に大きな役割を果たすなどその効果が著しく大きいとして評価された。



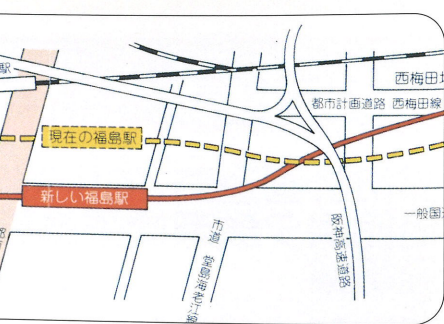
地下移行後の交差点



地下移行部

事業のあらまし

阪神本線は、大阪市内6.6kmのうち4.7kmは既に高架化が完了しており、残り1.9kmのうち1.3kmの地平（0.6kmは梅田地下駅）区間には6箇所の踏切があった。その中でも特に都市計画道路加島天下茶屋線（なにわ筋）と交差する浄正橋踏切は、市内でも有数の交通混雑箇所であったが、阪神本線地下化に伴い、全6箇所の踏切を除却した。



鉄道地下部

事業の効果

阪神本線立体交差事業が完了したことにより、今まで渋滞や事故の原因となっていた踏切が除却され、人や車の円滑かつ安全な通行の確保が可能となった。さらに、鉄道による地域の分断が解消されることで都市の一体化を図り、魅力のある街づくりの実現に大きな役割を果たし、沿線地域の発展と交通安全にも大きく寄与するものである。



整備前

- 延長：1,660m
- 踏切除却数：6箇所
- 交差幹線道路：加島天下茶屋線（なにわ筋）、中津西本町線（あみだ池筋）
- 全体事業費：49,100百万円
- うち街路事業費：30,595百万円
- 事業期間：昭和59年度～平成5年度